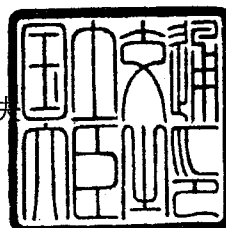


# 認定書

国住指第 1825 号  
平成 22 年 9 月 21 日

オーウェンス コーニング ジャパン株式会社  
代表取締役 武田 哲夫 様

国土交通大臣 馬淵 澄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 63 条並びに同法施行令第 136 条の 2 の 2 第一号及び第二号（防火地域又は準防火地域内の建築物の屋根）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
DR-0831
2. 認定をした構造方法等の名称  
砂付ガラス繊維入アスファルト系シート・アスファルト系ルーフィング・木質系  
ボード表張／木製下地屋根
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

砂付ガラス繊維入アスファルト系シート・アスファルト系ルーフィング・木質系ボード表張／木製  
下地屋根

2. 形状及び寸法等

項 目	申 請 構 造
表面形状	シート状
厚さ (mm)	11.8 $\pm$ 0.8以上 (下地を除く)
傾 斜 角	0° ~70°

(別添-1)

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
<p>葺き材</p>	<p>砂付ガラス繊維入アスファルト系シート：                      (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする                      (1)タイプA (別添-6 参照)                      ・大きさ：336<sub>±5</sub>×1000<sub>±10</sub>                      ・厚さ：5.8<sub>±0.6</sub> (凹部 2.9<sub>±0.3</sub>)                      ・質量：1.46kg/枚～2.13kg/枚                      ・質量(施工面積)：10.2kg/m<sup>2</sup>～15.0kg/m<sup>2</sup> (有機質量 3.3kg/m<sup>2</sup>以下)                      ・構成<sup>※1</sup></p> <p>(2)タイプB (別添-6 参照)                      ・大きさ：336<sub>±5</sub>×984<sub>±10</sub>～1000<sub>±10</sub>                      ・厚さ：5.6<sub>±0.6</sub> (凹部 2.8<sub>±0.3</sub>)                      ・質量：1.27kg/枚～2.0kg/枚                      ・質量(施工面積)：8.9kg/m<sup>2</sup>～14.2kg/m<sup>2</sup> (有機質量 3.13kg/m<sup>2</sup>以下)                      ・構成<sup>※1</sup></p> <p>(3)タイプC (別添-6 参照)                      ・大きさ：333<sub>±5</sub>×1000<sub>±10</sub>                      ・厚さ：2.8<sub>±0.3</sub>                      ・質量：1.13kg/枚～1.68kg/枚                      ・質量(施工面積)：7.9kg/m<sup>2</sup>～11.7kg/m<sup>2</sup> (有機質量 2.58kg/m<sup>2</sup>以下)                      ・構成<sup>※1</sup></p> <p>※1 構成</p> <p>[1] 鉱物系粒子                      …質量(施工面積) 2.7kg/m<sup>2</sup>～4.8kg/m<sup>2</sup>、粒径 1～3</p> <p>[2] 無機質系充てん材混入アスファルト                      …質量(施工面積) 4.7kg/m<sup>2</sup>～8.8kg/m<sup>2</sup>                      組成 { アスファルト…………… 1.6kg/m<sup>2</sup>～3.1kg/m<sup>2</sup>                      無機質系充てん材(炭酸カルシウム等) … 3.1kg/m<sup>2</sup>～5.7kg/m<sup>2</sup></p> <p>[3] ガラス繊維マット                      …厚さ 0.3～0.5                      質量(施工面積) 0.15kg/m<sup>2</sup>～0.4kg/m<sup>2</sup>                      組成 { ガラス繊維…………… 0.1kg/m<sup>2</sup>～0.3kg/m<sup>2</sup>                      アクリル系樹脂バインダー…………… 0.05kg/m<sup>2</sup>～0.1kg/m<sup>2</sup></p> <p>[4] けい砂                      …質量(施工面積) 0.3kg/m<sup>2</sup>～0.8kg/m<sup>2</sup>、粒径 0.1～1</p> <p>[5] 接着剤：無機質系充てん材混入アスファルト系                      …質量(施工面積) 0.05kg/m<sup>2</sup>～0.2kg/m<sup>2</sup>                      組成 { アスファルト……………0.05kg/m<sup>2</sup>～0.1kg/m<sup>2</sup>                      無機質系充てん材(炭酸カルシウム等) … 0kg/m<sup>2</sup>～0.1kg/m<sup>2</sup></p> <p>但し、[1]～[5]を合わせた無機質の比率を78%以上とすること</p>

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
接 着 剤 (葺き材用)	(1), (2)のうち、いずれか一仕様とする (1) アスファルト系 <sup>※2</sup> ・質量：5g/箇所(固形量)以下[有機質量3g/箇所以下] ・組成(質量%)：{ アスファルト……………40～60 { けい砂……………40～60 ※2 葺き材一枚につき最大3箇所塗布する  (2) なし
下 葺 き 材	アスファルト系ルーフィング：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1) アスファルトルーフィング940(JIS A 6005品及び適合品) ・質量0.94kg/m <sup>2</sup> ～1.2kg/m <sup>2</sup> (有機質量1.1kg/m <sup>2</sup> 以下) ・重ね幅(流れ方向)：100～200 ・重ね幅(桁方向)：100  (2) 改質アスファルトルーフィング ・質量0.76kg/m <sup>2</sup> ～0.86kg/m <sup>2</sup> (有機質量0.86kg/m <sup>2</sup> 以下) ・重ね幅(流れ方向)：100～200 ・重ね幅(桁方向)：100  (3) 改質アスファルトルーフィング ・質量0.93kg/m <sup>2</sup> ～1.16kg/m <sup>2</sup> (有機質量0.96kg/m <sup>2</sup> 以下) ・重ね幅(流れ方向)：100～200 ・重ね幅(桁方向)：100  (4) 改質アスファルトルーフィング ・質量1.0kg/m <sup>2</sup> ～3.0kg/m <sup>2</sup> (有機質量2.73kg/m <sup>2</sup> 以下) ・重ね幅(流れ方向)：100～200 ・重ね幅(桁方向)：100
野 地 板	木質系ボード：I～Vのうち、いずれか一仕様とする I. 普通合板(JAS) ・厚さ：9 <sub>±0.5</sub> 以上 II. 構造用合板(JAS) ・厚さ：9 <sub>±0.5</sub> 以上 III. 耐水合板(JAS) ・厚さ：9 <sub>±0.5</sub> 以上 IV. 素地パーティクルボード(JIS A 5908) ・厚さ：9 <sub>±0.5</sub> 以上 V. OSB(JIS A 5908) ・厚さ：9 <sub>±0.8</sub> 以上
下 地	木製下地 ・形状寸法：□-25×35の断面寸法以上 ・間隔：500以下

## 2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
留 付 け 材	<p>[1] 葺き材用：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：①, ②のうち、いずれか一仕様とする</li> <li style="margin-left: 20px;">①鉄製</li> <li style="margin-left: 20px;">②ステンレス</li> <li>・寸法：φ1.7以上×L25以上</li> <li>・留付け数：4箇所～6箇所</li> </ul> <p>(2) シングルくぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：①, ②のうち、いずれか一仕様とする</li> <li style="margin-left: 20px;">①鉄製</li> <li style="margin-left: 20px;">②ステンレス製</li> <li>・寸法：φ2.9以上×L25以上</li> <li>・留付け数：4箇所～6箇所</li> </ul> <p>(3) 十字穴付き木ねじ (JIS B 1112)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法：φ2.1以上×L16以上</li> <li>・留付け数：4箇所～6箇所</li> </ul> <p>(4) シングル用特殊ビス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：①, ②のうち、いずれか一仕様とする</li> <li style="margin-left: 20px;">①鉄製</li> <li style="margin-left: 20px;">②ステンレス製</li> <li>・寸法：φ2.6以上×L25以上</li> <li>・留付け数：4箇所～6箇所</li> </ul> <p>[2] 野地板用：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：①, ②のうち、いずれか一仕様とする</li> <li style="margin-left: 20px;">①鉄製</li> <li style="margin-left: 20px;">②ステンレス</li> <li>・寸法：φ1.7以上×L25以上</li> <li>・間隔：500以下</li> </ul> <p>(2) 十字穴付き木ねじ (JIS B 1112)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法：φ3.8以上×L38以上</li> <li>・間隔：500以下</li> </ul> <p>(3) なし (木製下地を接着剤で固定する場合に限る)</p> <p>[3] 木製下地間用：(1), (2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質：①, ②のうち、いずれか一仕様とする</li> <li style="margin-left: 20px;">①鉄製</li> <li style="margin-left: 20px;">②ステンレス</li> <li>・寸法：φ2.75以上×L50以上</li> <li>・間隔：500以下</li> </ul> <p>(2) なし (接着剤で固定する場合に限る)</p>
接 着 剤 (木製下地用： 別添-6参照)	<p>[1] 野地板固定用：(1), (2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) エポキシ系樹脂……質量400g/m<sup>2</sup>(固形量)以下</p> <p>(2) なし (留付け材で固定する場合に限る)</p> <p>[2] 下地間固定用：(1), (2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 酢酸ビニル系樹脂…質量350g/m<sup>2</sup>(固形量)以下</p> <p>(2) なし (留付け材で固定する場合に限る)</p>

4. 構造説明図（寸法単位：mm）

<木製下地①>

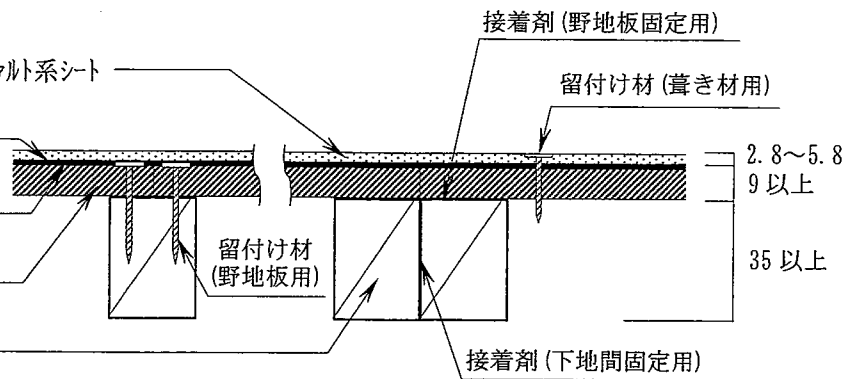
1) 葺き材：砂付ガラス繊維混入アスファルトシート

2) 接着剤又はなし：

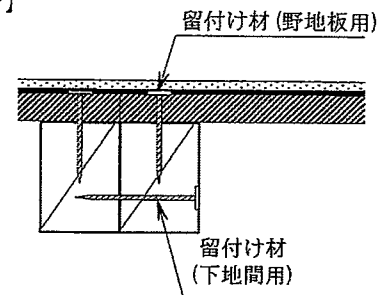
3) 下葺き材：

4) 野地板：

5) 下地：



【接着剤で固定する場合】



【留付け材で固定する場合】

<木製下地②>

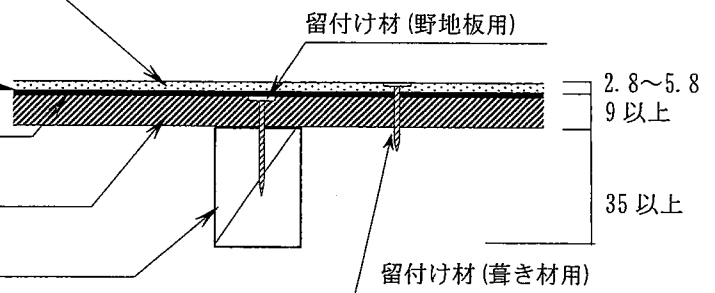
1) 葺き材：砂付ガラス繊維混入アスファルトシート

2) 接着剤又はなし：

3) 下葺き材：

4) 野地板：

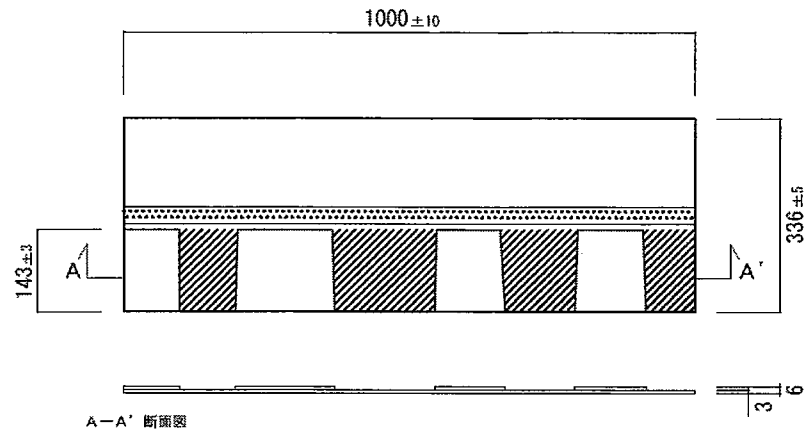
5) 下地：



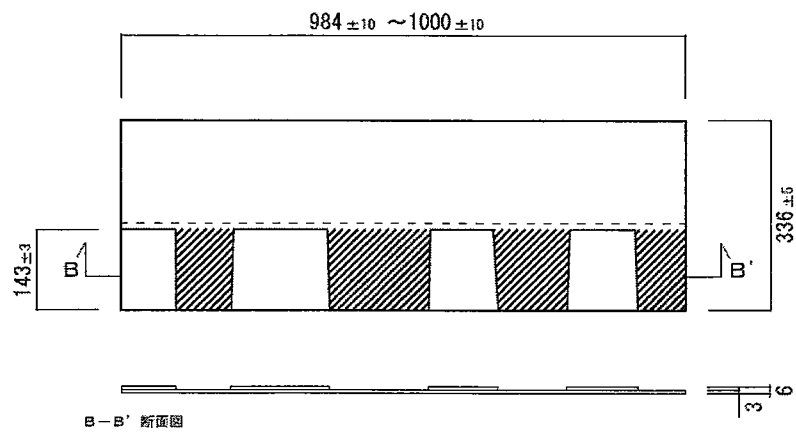
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

<葺き材形状図>

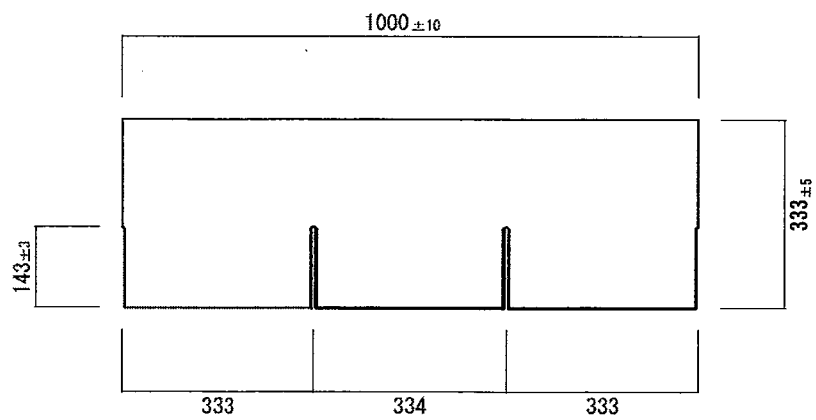
タイプA



タイプB

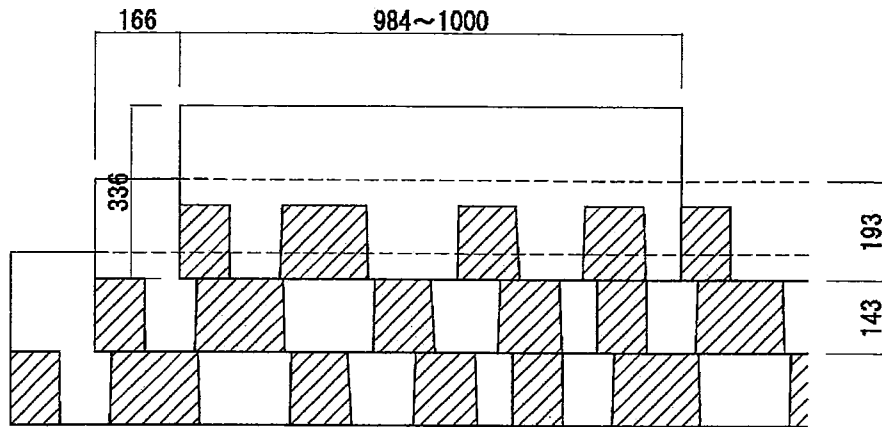


タイプC

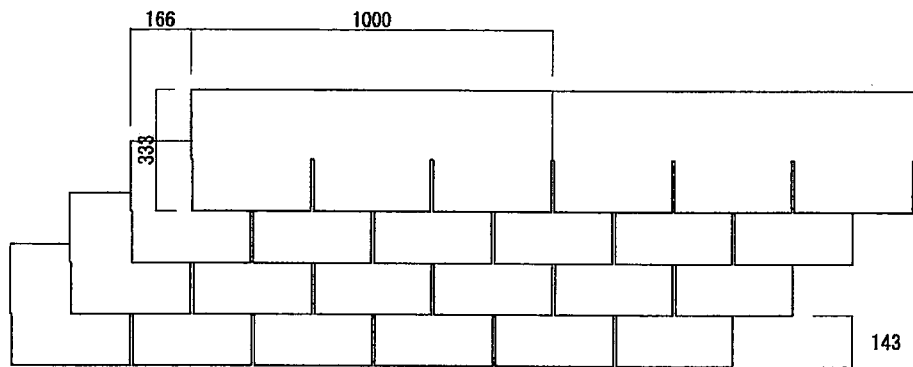


<重なり寸法図>

タイプA, B



タイプC

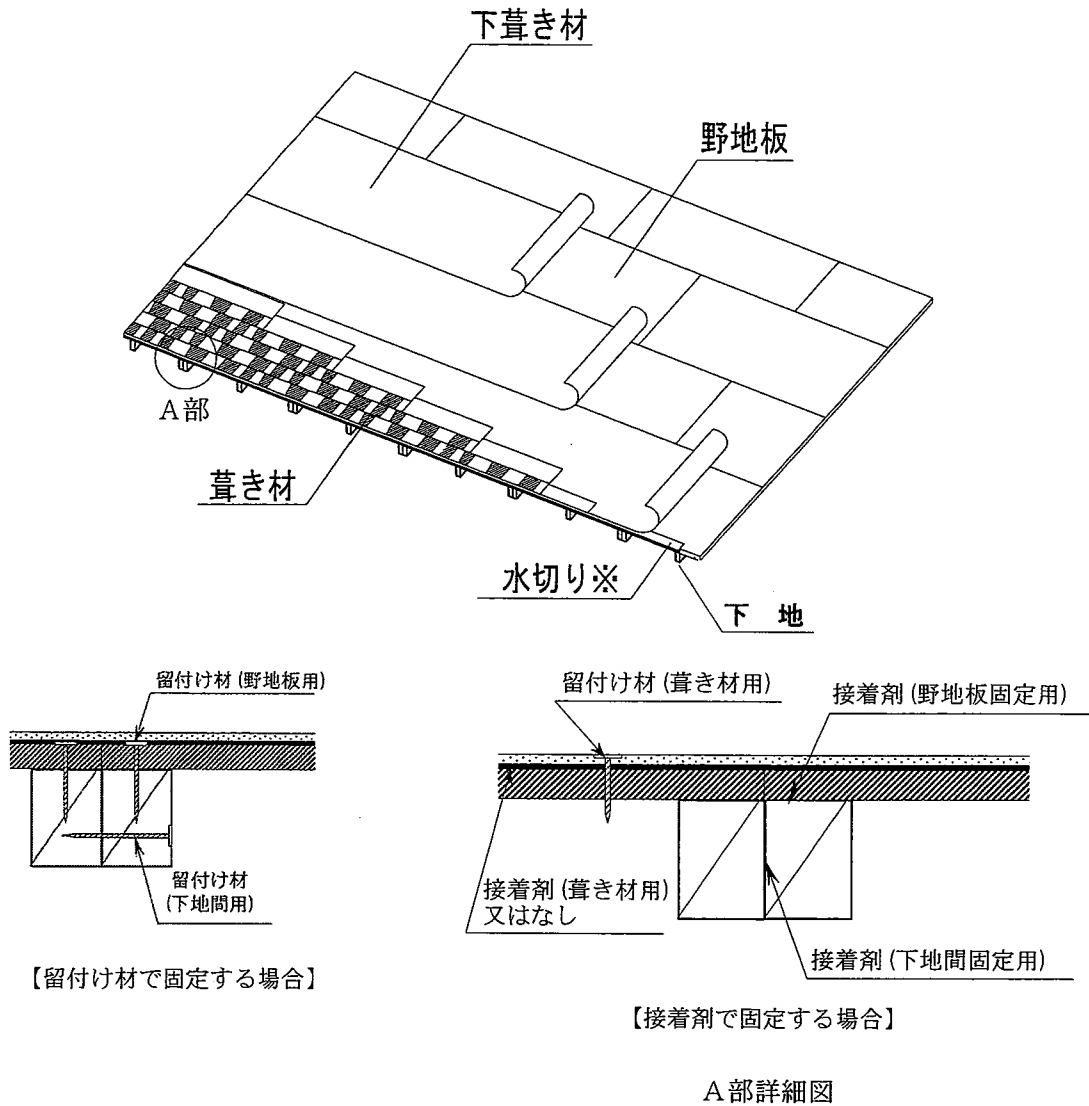




5. 施工方法等

<施工図>

◆木製下地①



<施工手順>

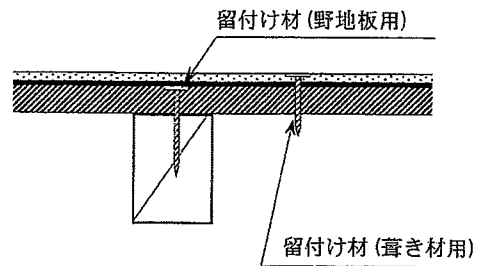
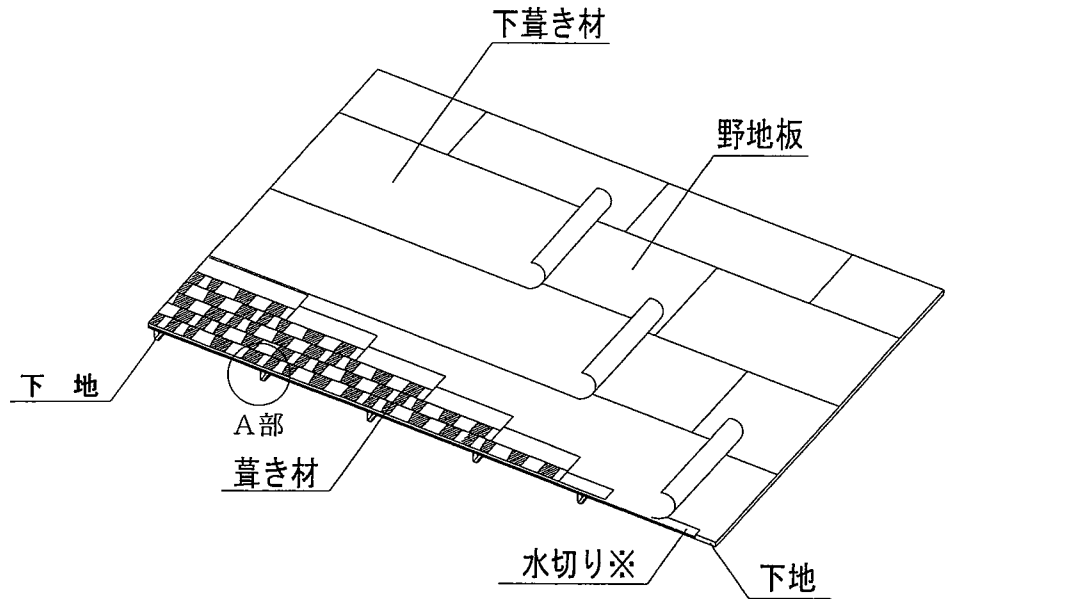
- ①下地を定められた間隔で施工する。  
下地同士の接合部（A部）は、接着剤又は留付け材にて下地同士を固定する。
- ②野地板を敷きつめ、接着剤又は留付け材で下地に固定する。  
但し、下地同士の接合部（A部）以外では、留付け材にて固定する。
- ③下葎き材を敷きつめる。
- ④接着剤を葎き材の中段に塗布する。但し、葎き材を留付け材のみで留付ける場合は塗布しない。
- ⑤葎き材を留付け材で留付ける。

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

\* : 本評価内容に含まない。

<施工図>

◆木製下地②



A部詳細図

<施工手順>

- ①下地を定められた間隔で施工する。
- ②野地板を敷きつめ、留付け材で下地に留付ける。
- ③下葦き材を敷きつめる。
- ④接着剤を葦き材の中段に塗布する。但し、葦き材を留付け材のみで留付ける場合は塗布しない。
- ⑤葦き材を留付け材で留付ける。

注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

\* : 本評価内容に含まない。